



# 学校だより

平成30年11月21日

NO. 7

射水市立堀岡小学校

校長 櫻野 栄子

## がんばっているね！ <sup>がんば</sup>顔晴れ！！

11月1日の朝、玄関で立っていると、6年生の女の子が「おはようございます。今日は、〇ちゃん（友達）の誕生日だよ」と教えてくれました。「1,1,1で縁起のよい日だね」と私が言うと、11日は〇ちゃん、21日は～とクラスの子の誕生日を次々と教えてくれるのです。6年教室の日直の札は、1年生の頃から使っているものです。あどけない1年生の頃の写真と平仮名で書いた自分の名前が載っていて、かわいいなあとつい見とれてしまいます。この世に生まれたことを喜び、助け合い、励まし合ってきたんだなあと思います。

最近では、どの学年も「今日、体育できるかな（＝持久走があるかないか）」というのが話題の中心です。持久走が苦手だなあと思っている子には、その気持ちを受け止め、「最後まで走ればいいんだよ」と励ますことしかできませんが、体育の時間はどの子も真っ赤な顔をしてがんばっています。休み時間に練習している子供もいます。

子供たちの「すてき」や「がんばり」に感動し、共に喜ぶことができる大人でいたいなあと感じた一コマでした。

## 校内持久走大会 自分に挑戦！



よ～いドン！がんばるぞ



6年間の経験を生かして、自分の力を発揮します！

15日に1回目の記録会を行いました。他学年からの応援も受け、どの子供も精一杯走っていました。「タイムが縮んだよ」と言う子もいれば、「もっと最初からとばせばよかった」と言う子もいて、各自が次の目当てを立てていました。丈夫な体と最後まで努力する態度、強い精神力を養ってくれるものと思います。ファイト！！

## 本校の道徳教育、道徳科の学習を見ていただきました

### 11.6 小学校教育課程研究集会 県西部道徳科部会(初年度)研究会

【1年：ともだちとなかよく】



どんなお話をしながらリスさんを通して行ったのかな？やってみよう

【4年：公正な態度で】



審判として良太が変わったのは、なぜなの？どう思う？

【6年：広い心】



広い心ってどんな心？なぜ大切なの？周りの人の考えを聞いてみよう

文部科学省の浅見哲也先生を始め、県内から120名あまりの先生方をお迎えし、本校のこれまでの取組や子供たちの学習の様子を見ていただきました。家庭・地域が一体となって子供たちを育てていること、全学年が道徳科の学習の積み重ねを大事にしていること、にこやかに友達と話し合う様子などについて、温かいご意見をいただきました。教師が子供と共に考え、悩み、感動を共有し、よりよい生き方を考える授業作りに今後も努めていきます。

## なでしこ公開学習 ～自分が好き、人が好き、ふるさとが好きな堀岡っ子を目指して～



【2年：生命の尊さ「わたしの力」】 【3年：家族愛「お母さん、かせてねこむ】 【5年：生命の尊さ「生きる力を引き出す笑い」】

### ＜かけがえのない命、支えられている自分について考え、家族へのメッセージカードを書きました＞

- みんな違うけどいいと分かったよ。「みんなが生まれてきてうれしい」とお母さんとお父さんが思ってくれているから、みんな元気だよ。(1年)
- いつも助けてくれたり、いろんなことをしてくれてありがとう。また、いろんなことをしてもらうかもしれません。今度は私が何かをしなきゃいけないなと思いました。(2年)
- いつもおいしいご飯を作ったりぼくたちのお世話をしたりしてくれてありがとう。いつも仕事をがんばっていて、帰ってきてぼくにかまってくれてありがとう。(3年)
- 私は今日の授業を通して、本当の思いやりや親切について考えました。励ましたりするのも大切だけど人を大事にすることも大切だと思いました。そうしたら、困っている人も少なくなるし、みんなが笑顔になるからです。だからいろんな人に親切にしていこうと思いました。(4年)
- 今日の授業では命の大切さを学んだよ。私たちが命をかけて守ってくれる人がいるということが分かったよ。昨日の勉強では山岳警備隊の「けがをした人を死なせてはならない」という思いを知って、「自分たちの命をこんなふうに守ろうとしている人がいるなんて知らなかった」と思ったよ。今日の勉強でも病気の人を笑わせて、病気に打ち勝つ力を強くしたり、安心させたりしていることが分かったよ。自分たちにとって命はかけがえのない大切なものなんだね。(5年)
- 今日の授業で思ったことがあります。お母さん大変そうだな～って。前、仕事で実験を失敗して手がポロポロになっていました。お母さん、ぼくのために一生懸命働いてくれてありがとう。いろいろ大変なことをしてくれてありがとう。○ちゃん(妹)もいつもぼくに優しくしてくれてありがとう。元気が出ます。ぼくも優しくできるようがんばります。(6年)



家族の方からも子供たちへ温かいメッセージをいただきました。これからも、一人一人が大切な存在であること、多くの人が見守っていることを家庭・地域・学校で子供たちに伝えていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。



### 「堀岡小学校のうつしかわりと堀岡のいま、むかし」

講師 竹脇久雄先生

貴重な写真や資料を見せていただきながら、明治6年10月に堀岡新村時習小学校として開校してから現在まで145年間のことをお話しいただきました。「時習」とは、「時」(折に触れてその都度)、「習」(復習する)という意味だと伺い、創校の教えに気が引き締まる思いでした。また、学校を大事にしてこられた堀岡の先人の方々の素晴らしさに子供たちも驚いたようでした。

- 堀岡に人が住み始めたのは700年前だそうです。消防分団のところに線路が通っていて、堀岡駅があったなんてすごいなあ、堀岡にはつながりがいっぱいあるなあと思いました。明治5年に「全国に小学校を作りなさい」と言われて、すぐに堀岡小学校が作られたと聞いて、すごいなあと思いました。(3年)
- ぼくが今通っている校舎が最初の校舎から数えて6つめになります。この校舎もいつか建て替えるときが来るかもしれないけど、よりきれいに長く使っていきたいと思いました。(4年)
- 堀岡小学校が145歳であること、寄付金で学校が作られたことを初めて知りました。堀岡の歴史をもっと知りたくなりました。(4年)

先生のお話から、子供たちは堀岡のことを知り、学校やこの地域を誇りに思うことができました。ありがとうございました。